

### Ⅲ. 褥瘡対策チーム



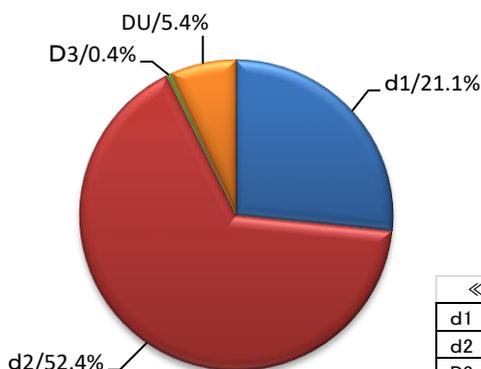
当院は急性医療総合センターを持つ特定機能病院であり、褥瘡ハイリスク要因を持つ患者さんが多い。

褥瘡対策チームは、褥瘡の発生予防と早期発見・早期治療に向け多職種（皮膚科・形成外科医師、皮膚科・排泄ケア認定看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、言語聴覚士、薬剤師）で構成されており、病棟看護師や褥瘡専任看護師と連携しながら活動を行っている。尾骨、仙骨、踵など荷重がかかる部位への発生が多く、2023年度は2022年度に増加した尾骨部での発生について対策に力を入れた。

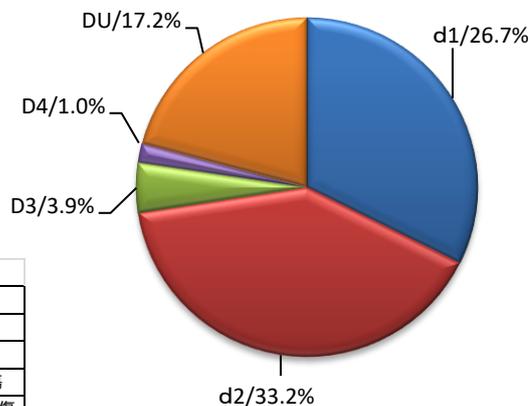
早期発見のための観察や、ポジショニング、予防的保湿ケアに力を入れた教育活動を行っており、医療関連機器圧迫創傷では、弾性ストッキングによる発生や末梢ルート、サージカルマスク着用による耳介への潰瘍形成に対して対策を行った。褥瘡発生を予防するにはリスクアセスメントと観察が重要である。

多職種で連携し、問題について取り組みを行い、各診療科や病棟へタイムリーにデータをフィードバックしていく。また教育や啓蒙活動も並行して実施し、病院全体で褥瘡の発生低減に取り組めるような活動を行っていく。

Ⅲ-1 2023年度深さ別発生率(新規発生褥瘡)

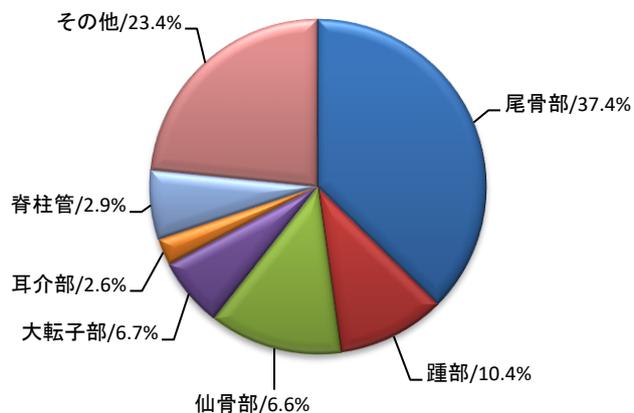


Ⅲ-2 2023年度深さ別発生率(持ち込み褥瘡)

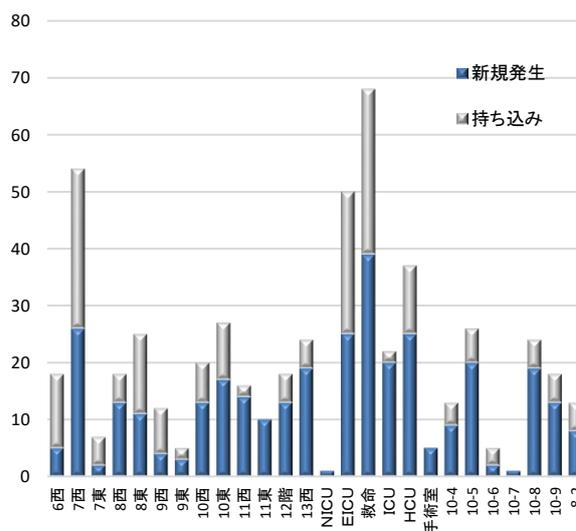


《褥瘡の深さの判定》	
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を越える損傷
D5	関節腔・体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

Ⅲ-3 2023年度部位別褥瘡発生率(新規発生褥瘡)



Ⅲ-4 2023年度部署別褥瘡発生状況



※ 2018年度より部署別褥瘡発生状況に変更

Ⅲ-5 過去5年間の褥瘡発生率

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
発生率	1.75%	1.80%	2.13%	3.09%	1.24%